

# 心と音をひとつに



## 吹奏楽部



速報新聞

# キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

▲指揮者の指示を受け、演奏に集中している吹奏楽部の部員たち

部長である山北穂乃佳さん(2-8)は部の魅力について「第一に音楽をする

**部長**  
**山北穂乃佳さん**

がら楽器を弾くというパフォーマンスを練習していた。吹奏楽部には3年生14人、2年生16人、1年生18人の計48人が所属しており、毎日木造校舎にある音楽室で練習している。基本的には個人で練習を行った後にパートナーごとに集まって音を合わせ、最後に全体で合奏を行うという方針で日々練習を行っているそうだ。取材当時は東鬼祭のオーブニングでの演奏に向けて、踊りながら楽器を弾くというパフォーマンスを練習していた。

今回のキマグレでは、日々練習に励む吹奏楽部を紹介する。

▶東鬼祭への意気込みを話す山北さん



ことが楽しい。またほかの部活よりも部員と一緒にいる時間が長いので、部員同士の絆を深められることも魅力の一つだ」と微笑んだ。最後に東鬼祭に向けて「お客さんのことを第一に考えて、自分たちができる最高のパフォーマンスをしたい。そして吹奏楽部のみんなとともに演奏することを楽しみたい」と語気を強めた。

**副部長**  
**尾崎理子さん**

副部長の尾崎理子さん(2-8)は部の魅力を「吹奏楽部には補欠などがなく、全員がレギュラーとして一緒に活動できる。そこが吹奏楽部の魅力だと思う」と明かした。

名物部員

**小林奈々美さん**

吹奏楽部のなかでも演奏がうまいことで有名な小林奈々美さん(2-6)。担当楽器はサクソフォン(通称サクス)だ。吹奏楽部に入部した理由は、中学生のときに吹奏楽部に所属しており、高校でも続けたいと思ったからだそうだ。小林さんはサクスの魅力について「音を出すこと自体は簡単だが、そこからサクス本来の魅力的な音を作ることが難しくまた楽しい。柔らかくきれいな音が出るので、クラシックやジャズなどの幅広い音楽に使われているところも好きだ」と楽しげに話した。



▶小林さんは笑顔でサクスの魅力について話した。

**副部長**  
**池田あまねさん**

副部長の池田あまねさん(2-1)は部の魅力について「全員の音を一つに合わせられたときに達成感が得られる。また良い演奏をすることで人を感動させることができる」と話した。